

2024年4月幹事会 企画幹事資料

1. 2024年度 例会の準備状況

① 2024年9月例会

開催日：2024年9月27日（金）13:30～16:30

場所：日本薬学長井記念ホール（東京）現地開催

講演	演題・所属・氏名	備考
一般公演	1) 13:30～14:15 「カロテグラストメチルの臨床薬物相互作用（仮題）」 EA フーマ株式会社 鷹橋俊之 先生	未 演題 済 演者 未 ご略歴
	2) 14:15～15:00 「新規消毒剤の申請アプローチー経皮吸収を中心に－（仮題）」 株式会社大塚製薬工場 栗林 俊治 先生	未 演題 済 演者 未 ご略歴
	15:15～16:15 「未定」 演者未定	未 演題 未 演者 未 ご略歴
司会	日本ベーリンガーイングルハイム株式会社	

特別講演演者候補：

候補 1

藤堂浩明 先生 or 杉林堅次 先生（城西大学）：皮膚を介した医薬品や化粧品の効率的なデリバリー、薬物を搭載可能なナノサイズの脂質粒子設計

候補 2

前田和哉 先生（北里大学）：薬物相互作用 ICH M12 に関する
4月幹事会後に打診予定。

2. 2024年度 第47回年会の準備状況

開催日：2024年11月14日（木）～15日（金）

場所：オーケラクトシティホテル浜松

事務局・担当幹事：岸本・伴野（日本ベーリンガー），小森・永易 常任幹事

シンポジウムテーマ

テーマ① Special populationでの動態予測とそれを支える in vitro 研究

趣旨：年齢、疾患等は薬物動態の変動因子であり、これらの被検者でのPKデータは日々蓄積されてきている。また、該当被験者でのPK変動を引き起こすであろう因子の研究も進んでいる。本テーマでは、それらの最新の知見を包括的に得るとともに、in vitroからの予測や注意すべき点を議論し、医薬品開発を効率的に進めるための一助としたい。

組織委員

- ✧ 千葉康司 先生（横浜薬科大学）
- ✧ 三好聰 先生（ファイザーR&D 合同会社）：SP population 関連の座長
- ✧ 高江聰詞 先生（アステラス製薬）：小児での動態予測

以下、未定（4/9現在、コンタクト済み回答待ち）

- ✧ 上村尚人 先生（大分大学 医学部 臨床薬理学講座）：肝疾患 NASH

演者候補（4月例会後、組織委員の先生方に候補選定・打診頂く予定）

- （特別講演枠として）Utility of Quantitative Proteomics for Enhancing the Predictive Ability of Physiologically Based Pharmacokinetic Models Across Disease States. Prasad Bhagwat
- 佐藤洋美 先生（千葉大学大学院薬学研究院 臨床薬理学／樋坂先生ラボ）：「高齢者の薬物動態の特性と薬物相互作用のリスク」
- 大野能之 先生（東京大学医学部附属病院薬剤部、副薬剤部長）：「高齢者の腎機能低下時の薬物投与と薬物相互作用の考え方」、「肝障害時の薬物動態の考え方」
- 矢野育子 先生（神戸大学医学部附属病院 薬剤部長）：「医薬品適正使用のためのクリニカルファーマコメトリクス」

テーマ②：サイトーシスと中高分子薬の膜輸送

趣旨：細胞内外の物質輸送を担うサイトーシス研究が進んでおり、その機構や担体も解明されつつある。サイトーシス機構を利用してことで、膜透過性の高くない中高分子薬をターゲット細胞に届けることも可能となる。本テーマでは、サイトーシスの最新知見を学ぶとともに、中高分子薬のターゲティングや膜透過に関する理解を深めることを目的としたい。また、パネルディスカッションにおいては中高分子創薬における薬物動態上のハードルについて議論するとともに、それらのハードル克服のためのサイトーシス等の膜輸送機構の有用性・可能性について議論したい。

組織委員

- ✧ 井上勝央 先生（東京薬科大学）
- ✧ 近藤昌夫 先生（大阪大学）

✧ 尾関和久 先生（中外製薬）

以下、未定（4/9現在、コンタクト済み回答待ち）

✧ 薗田啓之 先生（JCR ファーマ）：J-Brain Cargo

演者候補（4月例会後、組織委員の先生方に候補選定・打診頂く予定）

- （特別講演枠として）二木史郎 先生（京都大学）：各種サイトーシスの研究とデリバリー技術開発
- 薗田啓之 先生（JCR ファーマ）：J-Brain Cargo の開発について
- 桑原宏哉 先生（東京医科歯科大学）：血中グルコース依存的 BBB 通過型 DDS 開発

以上